

さんごぬ〜る専用下地シート 施工要領書

準備

- さんごぬ〜る専用下地シートは、通常のビニールクロスとは逆巻きになっておりますので、糊付け機にセットする際には、逆向きにセットしザラザラ面に糊を塗布して下さい。ツルツル面が表です。
- 下地の汚れやホコリなどは取り除いてください。
- 石膏ボードなどの継ぎ目の部分にはパテ処理を施してください。ビス止め部分もすべてパテ処理を施してください。（下パテと仕上げパテの2回施してください。）
パテ処理の際、ビスや釘には錆止めを塗るか、ステンレス製のものを使用してください。
また、パテが完全に乾いた後、パテ用ペーパーで平滑にしてください。

施工

- 石膏ボードなどの下地材にさんごぬ〜る専用下地シートを、全面むらなく貼り付けてください。
- <入隅部>
 - 入隅部は、廻し貼り・カットどちらでも構いません。（現場監督様とご相談下さい。）
 - カットの場合は、あらかじめボンドコークを入れておいてください。
- <出隅部>
 - 出隅部は、廻し貼りにしてください。
- <ジョイント部>
 - ジョイント部は突き付け貼りもしくはジョイント工法のどちらでも構いません。
突き付け張りの場合は、シートとシートに隙間があかないように注意してください。
ジョイント工法の場合は、下地ボードを切らないよう必ず「下敷きテープ」を使用してください。
どちらの場合もジョイント部は、目地用ローラーでよく押さえて、ジョイント部の接着力を高めてください。
- <平面部>
 - さんごぬ〜る専用下地シートのジョイント部は、下地石膏ボードなどの継ぎ目やパテ処理部と重ならないよう、10cm以上離してください。
 - 全体の圧着には、クロス専用のハケペラを使用し、最後にスムーザーを使い、絶対に空気が残らないようにしてください。空気が残ったまま塗材を施工すると、後にひび割れや膨らみのクレームの原因となります。
 - 真壁の場合は特に、経年後、チリ際が剥いたり、さんごぬ〜る専用下地シートが反らないようにチリ際や端部はしっかりと糊をつけて、ローラーなどで押さえ、接着力を高めてください。（さんごぬ〜る専用下地シート施工後に、ボンドコークを入れておくのも効果的です。）*枠廻り、廻り縁、巾木なども同様です。

施工上の注意事項

- 貼り付け時に空気や塵などが入らないように注意してください。
- パテ部分を平滑にして、粉も完全に取り除いてください。
- 糊を希釈するときは、クロスを貼る場合より、若干濃い目にしてください。
- 糊は糊付け機を使い、クロスを貼る場合より、若干多めにつけてください。
- 糊付け後のオープンタイムは、夏場 10分、冬場 15分程度を目安として、現場状況に合わせて調整してください。
- 下地がモルタル、珪カル板、コンパネなどの場合は、適切なシーラー（アク止めシーラーとシーラーバインダー等）を塗布してください。
- 貼り付け後、中 1 日程度養生期間をもうけ、糊が完全に乾いたこと、また、空気の入っている箇所がないかを確認してください。
- リフォーム工事の場合、既設のビニールクロスを剥がすと、クロスの中紙が残ることがあります。石膏ボードなどの下地にしっかりと付着している裏紙はそのままでもいいですが、裏紙が浮いていたり、剥がれたところがあれば全て除去して下さい。ヤヨイ化学のクロス用トルトルレを使うとめくり易いです。

パテ・糊

- パテはビニールクロスを貼る際に使用するものと同等品で構いません。
- デンプン系水溶性糊
- ルーアマイルド、ウォールボンド 100・200（ゼロホルマリン）など

※施工要領の詳細に関しましては、弊社ホームページ（<http://sangonu-ru.jp/>）をご覧ください。



さんごぬ〜る

〒533-0014
大阪府大阪市東淀川区豊新5丁目19-1
TEL:06-6329-2790 FAX:06-6329-2779
メールアドレス:mail@yokota-s.jp
横田製作所 株式会社

さんごぬ〜る コテ（下塗材） 施工要領書

特徴

- 早期乾燥で、その日のうちに上塗り施工ができます。
- 下地としての、水引調整と同時に不陸調整ができます。
- アク・シミ止性能と防カビ、防錆効果も兼ね備えています。

練り方

- 容器は錆の出ないものを用意し、基準水量の8割の水を容器に入れてください。
- 基準水量は **10 kg/袋**に対して **4L** です。
- 容器に本品を入れハンドミキサー等で十分練り上げてください。
- 練り上がった材料に、下地の状況により残りの水を追加し再度練り上げて下さい。
- 練り上がった材料は20分以上練り置きしてください。（練り上がった材料の長時間保存は避けて下さい）

適応下地

- 石膏ボード・石膏プラスター・中塗り土
- モルタル（ピンホールの防止のため全面シーラー塗布）
- 合板（合板のアクの強い場合はアクが止まらないことがありますのでご注意ください）
- 構造用合板への施工は避けてください

施工上の注意事項

- 本品は内装専用の下塗材で、外装には使用できません。
- 釘などの錆の出る恐れがある場合は、錆止め処理をしてください。
- 壁の場合、強度のあることを確認の上施工してください。
- 強度のない下地は、剥離の原因になりますので下地の処理をしてください。
- 石膏ボードの場合、ジョイント処理の上施工してください。
- 水引の大きい下地は、水引調整の上施工してください。
- 気温 **5℃以下**になる恐れの場合、施工は避けてください。
- 施工後十分な換気を行い、早期に乾燥を心がけてください。

保管

- 直射日光の当たる場所や湿気の高い場所、高温または低温である場所での保管は避けてください。

安全上の注意

- 袋の裏面をよくお読みいただいてから作業してください。**

標準仕様

| | |
|-----------|---|
| 名 称 | さんごぬ〜る コテ（下塗材） |
| 主用途 | 内装アク・シミ止下塗材 |
| 1袋重量 | 10kg/ケース |
| 塗布量（10kg） | 石膏ボード・合板 薄塗 0.6mmで約30㎡ （0.4mm約35㎡～1.0mm約18㎡） |
| | 古壁の下地 厚塗 1.0mmで約18㎡ （0.8mm約25㎡～1.2mm約15㎡） |
| 基準水量 | 4L |
| 塗り厚 | 0.4～1.0mm |

※施工要領の詳細に関しましては、弊社ホームページ（<http://sangonu-ru.jp/>）をご覧ください。



さんごぬ〜る

〒533-0014
大阪府大阪市東淀川区豊新5丁目19-1
TEL:06-6329-2790 FAX:06-6329-2779
メールアドレス:mail@yokota-s.jp

横田製作所 株式会社

さんごぬ〜る 漆喰 コテ（仕上材） 施工要領書

練り方

- 使用器具はステンレス製かプラスチック製をご使用ください。
- 基準水量の**8割の水**を先に入れてからさんごぬ〜る漆喰（コテ）仕上げ材を入れ、ハンドミキサーでよくかき混ぜてください。
- ある程度混ざりますと残りの**2割の水**を少しづつ入れ、固さを調整してください。
（※規定以上の水は入れないでください。水垂れします）
- 攪拌時間は**10分～15分**です。
- 基準水量 **10kg**に対し**5L**（薄塗仕上の場合）。厚塗仕上げの場合は**4.5L**。
- 練置は**30分以上**（練置き後、施工する前には2～3分再度攪拌してください）。

適応下地

- さんごぬ〜る専用下地シート
- さんごぬ〜る コテ（専用下塗材）

塗り方

<フラット仕上の場合>

- しごき塗りの後、所定の厚みに塗り、タイミングを見計らいながら波消し鍍等で仕上げてください。

<デザイン仕上の場合>

- しごき塗りの後鍍・刷毛・ローラー・スクイジ等でデザインしながら塗り付け、仕上げてください。
（山高は**2mm**以上にならないようにしてください）

施工上の注意事項

- さんごぬ〜る専用下地シート（中1日）・又は専用下塗材に不備がなく完全に乾いていることを確認してください。
- 面積の広い天井や吹き抜け等の大壁は表面が乾かないうちに複数人で一気に仕上げてください。
- 施工前には、巾木、廻り縁、枠、床等の養生を確実にしてください。
- 白木部はマスキングテープ等で養生してください、強アルカリ性などでアクが出てシミになる場合があります。
- 混練りした材料は長時間の放置を避け、使用道具は早めに水洗ってください。
- 施工時もしくは施工後に、5℃以下になる恐れのある場合は施工を避けてください。
- 気温**5℃以下**になる恐れの場合、施工は避けてください。

保管

- 直射日光の当たる場所や湿気の高い場所、高温又は低温である場所での保管は避けてください。

安全上の注意

- 袋の裏面をよくお読みいただいてから作業してください。

標準仕様

| | |
|---------|--|
| 名称 | さんごぬ〜る 漆喰 コテ（仕上材） |
| 主用途 | 内装 |
| 1袋重量 | 10kg/ケース |
| 塗り厚/塗布量 | 薄塗仕上 1.0mm厚/25㎡（10kg） 0.5mm 約45㎡～2.0mm 約13㎡ |
| | 厚塗仕上 1.6mm厚/15㎡（10kg） 1.2mm 約20㎡～2.0mm 約10㎡ |
| 基準水量 | 5L/10kg |

※施工要領の詳細に関しましては、弊社ホームページ（<http://sangonu-ru.jp/>）をご覧ください。



さんごぬ〜る

〒533-0014
大阪府大阪市東淀川区豊新5丁目19-1
TEL:06-6329-2790 FAX:06-6329-2779
メールアドレス:mail@yokota-s.jp
横田製作所 株式会社

さんごぬ〜る 漆喰 ローラー 施工要領書

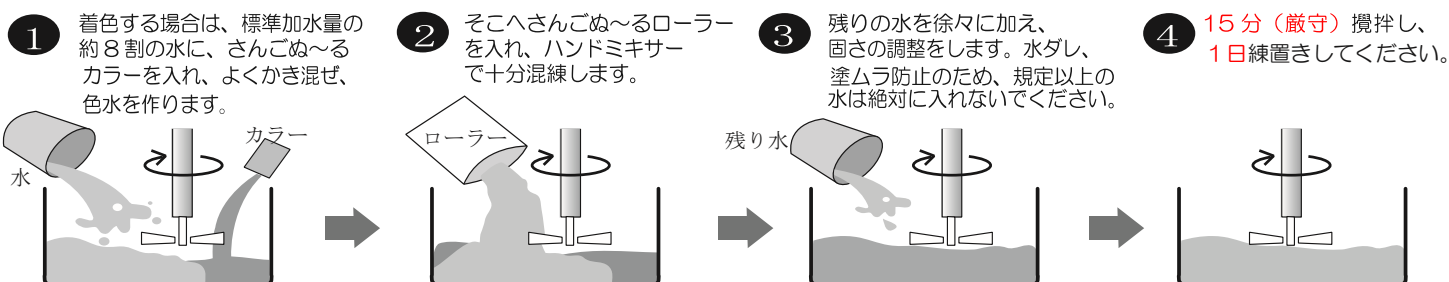
下地

- 最初にさんごぬ〜る専用下地シートが貼られていることを確認してください。
また、シートに膨らみやジョイント部分に浮きがある場合は、適切な処理をしてください。
- シート施工後、中1日程度経過し糊が完全に乾いている事を確認してください。

練り方

- 加水量は、さんごぬ〜るローラー10kg に対して、**13L**を基本とします。季節や現場の状況に応じて**500ml**まで加水する事が可能です。(13.5L以上の水は**絶対入れない**で下さい。2回塗では止まらず塗りムラの原因となります。)
- 練樽の容量は30L~50L以上のものをご用意ください。(後練の材料を注ぎたす際にも便利です。)
- 練樽が樹脂性の場合、ハンドミキサーのプロペラ部が鋭利なものは使用しないでください。
練樽が削れる恐れがありますので、ご注意ください。

<着色する場合>



<着色しない場合>

標準加水量の約8割の水に、さんごぬ〜るローラーを入れ、ハンドミキサーで十分混練します。あとは、**③④**上記と同じです。

塗り方

- さんごぬ〜るローラーはウールローラー(中毛)での**2回塗り**を基本とします。(目安塗布量: 240g/m²)
- 塗布量はたっぷり付けて、縦横にしっかり丁寧に塗り、最後にはローラーの目を揃えてください。
塗布量が少なく材料を薄く延ばしてしまうと、塗りムラの原因となります。
- 2回目の仕上塗りは、1回目の塗布材が完全に乾いてから施工してください。(特に冬場は注意してください。)
- 取り合い部・入隅部は、予め刷毛で塗って、追っかけてローラーで仕上げてください。
- 面積が広い天井や吹抜け等の大壁は表面が乾かない内に複数人で一気に仕上げてください。(1回目・2回目共)
- 塗り継ぎは絶対にししないでください。**塗りムラの原因となります。

施工上の注意事項

- ローラーは一般普及品の中毛ウールローラーを使用してください。
【注意】さんごぬ〜るローラーは粘性がありますので、**マイクロファイバーローラーや高粘度不可のローラーは使用しないでください。**後れ毛が発生し塗りムラになります。
- さんごぬ〜る専用下地シートを貼り付け後、中1日程度を置いて糊が完全に乾いた事を確認し、施工してください。
- 施工前には、巾木、廻り縁、枠、床などの養生を確実にしてください。
- 白木部はマスキングテープ等で養生して下さい。強アルカリ性なのでアクリルが出てシミになる場合があります。
- ④の攪拌時間および練り置き時間が短いと、粉が溶けきれずダマの原因となり施工性、仕上りにも影響をおよぼしますので、ご注意ください。また、攪拌時間の**15分はインターバルをとって5分を3回でも構いません。**
※材料は前日に練置きしてください。材料が馴染んで滑らかになり、施工性も良く仕上がりが一層綺麗になります。
- 練り置きや残った塗材は、マスカー等で完全密閉しておくこと4~5日程度は使用可能です。
再使用の際は、**5分程度攪拌してください。**
- 練り置きをしている材料を、休憩後に施工される場合は、**2~3分程度攪拌してください。**

※施工要領の詳細に関しましては、弊社ホームページ (<http://sangonu-ru.jp/>) をご覧ください。



さんごぬ〜る

〒533-0014
大阪府大阪市東淀川区豊新5丁目19-1
TEL:06-6329-2790 FAX:06-6329-2779
メールアドレス:mail@yokota-s.jp
横田製作所 株式会社

さんごぬ〜る 珪藻土 ロールー 施工要領書

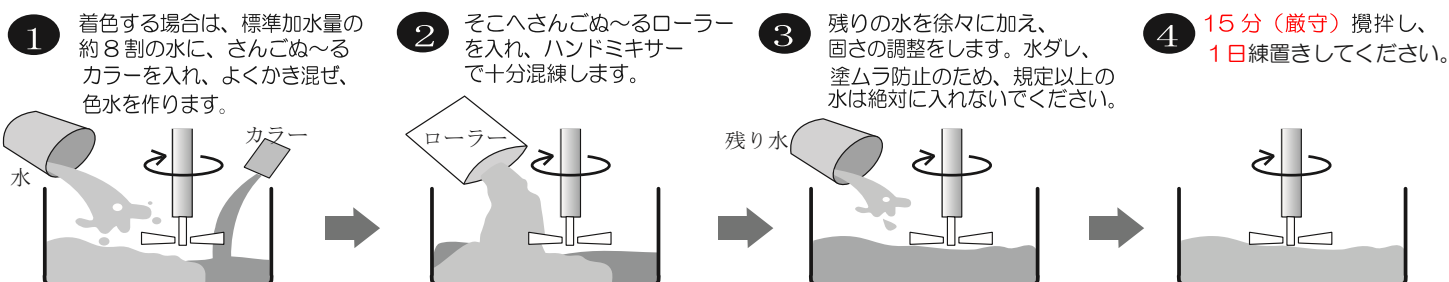
下地

- 最初にさんごぬ〜る専用下地シートが貼られていることを確認してください。
また、シートに膨らみやジョイント部分に浮きがある場合は、適切な処理をしてください。
- シート施工後、中1日程度経過し糊が完全に乾いている事を確認してください。

練り方

- 加水量は、さんごぬ〜るロールー10kg に対して、**16.5L** を基本とします。季節や現場の状況に応じて**500 ml**まで加水する事が可能です。(17L 以上の水は**絶対入れない**で下さい。2回塗では止まらず塗りムラの原因となります。)
- 練樽の容量は30L~50L以上のものをご用意ください。(後練の材料を注ぎたす際にも便利です。)
- 練樽が樹脂性の場合、ハンドミキサーのプロペラ部が鋭利なものは使用しないでください。
練樽が削れる恐れがありますので、ご注意ください。

<着色する場合>



<着色しない場合>

標準加水量の約8割の水に、さんごぬ〜るロールーを入れ、ハンドミキサーで十分混練します。あとは、**③④**上記と同じです。

塗り方

- さんごぬ〜るロールーはウールロールー(中毛)での**2回塗り**を基本とします。(目安塗布量: 240g/m²)
- 塗布量はたっぷり付けて、縦横にしっかり丁寧に塗り、最後にはロールーの目を揃えてください。
塗布量が少なく材料を薄く延ばしてしまうと、塗りムラの原因となります。
- 2回目の仕上塗りは、1回目の塗布材が完全に乾いてから施工してください。(特に冬場は注意してください。)
- 取り合い部・入隅部は、予め刷毛で塗って、追っかけてにてロールーで仕上げてください。
- 面積が広い天井や吹抜け等の大壁は表面が乾かない内に複数人で一気に仕上げてください。(1回目・2回目共)
- 塗り継ぎは絶対にしないでください。**塗りムラの原因となります。

施工上の注意事項

- ロールーは一般普及品の中毛ウールロールーを使用してください。
【注意】さんごぬ〜るロールーは粘性がありますので、**マイクロファイバーロールーや高粘度不可のロールーは使用しないでください。**後れ毛が発生し塗りムラになります。
- さんごぬ〜る専用下地シートを貼り付け後、中1日程度を置いて糊が完全に乾いた事を確認し、施工してください。
- 施工前には、巾木、廻り縁、枠、床などの養生を確実にしてください。
- 白木部はマスキングテープ等で養生して下さい。強アルカリ性なのでアクが出てシミになる場合があります。
- ④の攪拌時間および練り置き時間が短いと、粉が溶けきれずダマの原因となり施工性、仕上りにも影響をおよぼしますので、ご注意ください。また、攪拌時間の15分はインターバルをとって5分を3回でも構いません。**
※材料は前日に練置きしてください。材料が馴染んで滑らかになり、施工性も良く仕上がりも一層綺麗になります。
- 練り置きや残った塗材は、マスキング等で完全密閉しておくこと4~5日程度は使用可能です。
再使用の際は、5分程度攪拌してください。
- 練り置きをしている材料を、休憩後に施工される場合は、**2~3分程度攪拌してください。**

※施工要領の詳細に関しましては、弊社ホームページ (<http://sangonu-ru.jp/>) をご覧ください。



さんごぬ〜る

〒533-0014
大阪府大阪市東淀川区豊新5丁目19-1
TEL:06-6329-2790 FAX:06-6329-2779
メールアドレス:mail@yokota-s.jp
横田製作所 株式会社

さんごぬ〜る 珪藻土 コテ（仕上材） 施工要領書

練り方

- 使用器具はステンレス製かプラスチック製をご使用ください。
- 基準水量の**8割の水**を先に入れてからさんごぬ〜る珪藻土（コテ）仕上げ材を入れ、ハンドミキサーでよくかき混ぜて下さい。
- ある程度混ざりますと残りの**2割の水**を少しずつ入れ、固さを調整してください。（※規定以上の水は入れないでください。水垂れします）
- 攪拌時間は**10分～15分**です。
- 基準水量 **10kg** に対し**8L**。
- 練置は**30分以上**（練置き後、施工する前には2～3分再度攪拌してください）。

適応下地

- さんごぬ〜る専用下地シート
- さんごぬ〜る コテ（専用下塗材）

塗り方

- <フラット仕上の場合>
- しごき塗りの後、所定の厚みに塗り、タイミングを見計らいながら波消し鏝等で仕上げてください。
- <デザイン仕上の場合>
- しごき塗りの後鏝・刷毛・ローラー・スクイジ等でデザインしながら塗り付け、仕上げてください。（山高は**2mm**以上にならないようにしてください）

施工上の注意事項

- さんごぬ〜る専用下地シート（中1日）・又は専用下塗材に不備がなく完全に乾いていることを確認してください。
- 面積の広い天井や吹き抜け等の大壁は表面が乾かないうちに複数人で一気に仕上げてください。
- 施工前には、巾木、廻り縁、枠、床等の養生を確実にしてください。
- 白木部はマスキングテープ等で養生してください、強アルカリ性などでアクが出てシミになる場合があります。
- 混練りした材料は長時間の放置を避け、使用道具は早めに水洗くください。
- 施工時もしくは施工後に、5℃以下になる恐れのある場合は施工を避けてください。
- 気温**5℃以下**になる恐れの場合、施工は避けてください。

保管

- 直射日光の当たる場所や湿気の高い場所、高温又は低温である場所での保管は避けてください。

安全上の注意

- 袋の裏面をよくお読みいただいてから作業してください。

標準仕様

| | |
|---------|---|
| 名称 | さんごぬ〜る 漆喰 コテ（仕上材） |
| 主用途 | 内装 |
| 1袋重量 | 10kg/ケース |
| 塗り厚/塗布量 | 薄塗仕上 1.0mm厚/25㎡（10kg） 0.5mm 約45㎡～2.0mm約13㎡ |
| | 厚塗仕上 1.6mm厚/15㎡（10kg） 1.2mm 約20㎡～2.0mm約10㎡ |
| 基準水量 | 8L/10kg |

※施工要領の詳細につきましては、弊社ホームページ（<http://sangonu-ru.jp/>）をご覧ください。



さんごぬ〜る

〒533-0014
大阪府大阪市東淀川区豊新5丁目19-1
TEL:06-6329-2790 FAX:06-6329-2779
メールアドレス:mail@yokota-s.jp

横田製作所 株式会社